

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 神奈川 報告書



2018年7月7日(土)、「子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 神奈川」が神奈川県との共催で、新堀ライブ館楽友ホールにて開催されました。会場には、第一部に約79人、第二部に約54人、延べ約133名が集まりました。

第一部では、小河光治・代表理事からの挨拶に続いて、共催である神奈川県より香川智佳子・福祉子どもみらい局長からのご挨拶、そして開催地である藤沢市から小野秀樹・副市長にご挨拶をいただき、それぞれ子どもの貧困対策への想いなどについてお話いただきました。

その後、石川彩乃・神奈川大学外国語英語英文学科2年・JYSP、熊坂佳美・東京都市大学3年・ゆがわらっことつくる多世代の居場所、服部夏乃・明治学院大学3年・鎌倉てらこや・戸塚てらこや、花澤昂乃・慶応義塾大学3年・MOP・サードプレイス、村上夏月・神奈川大学外国語学部英語英文学科3年・JYSPの計5人をパネリストとし、須田洋平・サードプレイス代表理事のコーディネートののもと、パネルディスカッション『見えていますか？子どもたちのすがた』が行われました。

まず活動へのモチベーションについて、それぞれのパネリストから「子どもが好きという純粋な気持ちのほか、いろいろな出会いや、そして先輩たちの『与える側ではなく一緒に遊ぶ』という姿勢とそれを意図して作り出す姿にとっても憧れをもった。」「将来の夢である教員になるために、実践の場としてボランティアに挑戦したことがきっかけ。」「自分自身を貧困と認識していなかったが、ある合宿に参加したことをきっかけに、自分が抱えていた寂しさに気が付いてしまった。合宿で出会った大人や大学生に支えてもらったことで、今の状態になれた。出会ってしまったからには、き



ちんと見届けたいという意地もある。」などとお話しをいただきました。また活動のなかで接している子どもたちについて「いわゆる貧困な子どもたちが対象であるけれど、服装は普通。スマホを持っている子ばかりだし、見た目だけでは貧困ということは全く分からない。」「大学や高校など入学前にライングループができて人間関係が作られてしまうのが常識。」というお話がありました。「スマホはコミュニケーシ

ョンツールとして子どもたちの間でかなり重要であり、時代は大きく進んでいるという認識を持ったほうが良い。」「大人たちは子どもたちがどういうふうに人間関係を作っているのか、注意してみていく必要がある。」という意見もありました。また地域の大人の人たちとの関係について望むこととして、「活動のなかだけで解決できない子どもたちの課題



もあるので、子どもたちを取り巻く（例えば学校など）の関係者と話をしたい。」「大学生は子どもたちとのつなぎ役。気になる子どもに出会ったときは、専門的な大人の人にしっかりとサポートしてもらいたい。社会の中でしっかりとつながっていくことのできる環境を作ってほしい。」「活動に大人の人にも一緒に参加してほしい。」といった声が聞かれました。また最後に「支援」というキーワードについてどう思うか、という質問に対して、『支援』は一方向的なコミュニケーション。あまり支援をしているという意識は持っていない。自分自身も活動を通して、貰っているものが多い。」「自分が当事者としての立場だった時のことを考えても、何かを一緒にしようね、と話してくれたほうが楽に話せた。」と語っていただき、これからのまちづくりの一つとして「支援」というよりも「シェア」という考え方がキーになるという言葉で第一部が締めくくられました。



第二部は、「かながわ子どものみらい応援団 地域交流ネットワーク交流会」を兼ねて開催し、冒頭に剣持道子・神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部子ども支援課課長より、県の取り組みのご紹介をいただきました。その後、参加者同士でグループワーク「地域で考える、子どもへの向き合い方」を行いました。アイスブレイクでは、子どもたちに人気のカードゲームを体験し、その後のワークでは、「日頃感じている、子どもたちを取り巻く課題」「その解決策」について話し合いました。第二部の最後には山形伸次・公益財団法人キリン福祉財団参与より総括をいただきました。参加者からは「必要としている子どもへの情報提供、横のつながり、みんなで協力し合いながら、すべての子どもを笑顔にしたいですね。」「地域で一生懸命子どもたちに接している皆さんのお話をお聞きして、元気になりました。地域でたくさんの方が関わってゆくことが、大切なのだと感じました。」「支援臭という言葉が印象的！これがニオわないサポートの方法を考えていきたい。」などの感想をいただきました。

【子どもの貧困対策全国 47 都道府県キャラバン in 神奈川】
日時：2018年7月7日(土)第一部 13時～14時30分 第二部 14時45分～17時
場所：新堀ライブ館 3階
主催：公益財団法人あすのば／共催：神奈川県
後援：内閣府、神奈川県教育委員会、神奈川県社会福祉協議会、藤沢市、藤沢市社会福祉協議会／協力：NPO 法人サードプレイス、NPO 法人湘南市民メディアネットワーク
参加者：第一部 約79人 第二部 約54人 合計 延べ約133人が参加

